

電源投入後のキー入力について

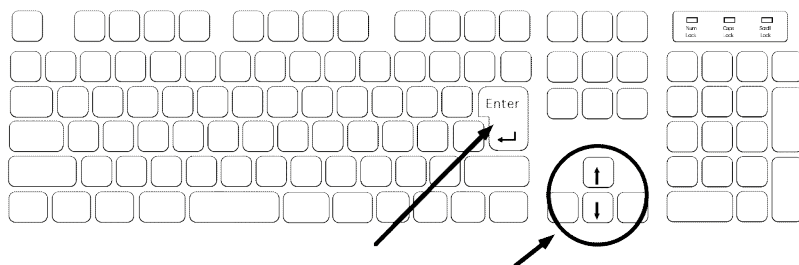
1. 電源投入後

画面上には右のような画像が表示されます。

画面左下の「Vine Linux」と書かれた部分の白黒反転表示を確認して、Enter キーを押します。もし表示が「WindowsXP Professional」を指していた場合、矢印キー ↑ ↓ で「Vine Linux」に切り替えて、Enter キーを押します。

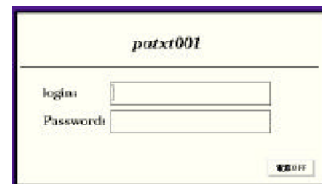


矢印キーと Enter キーの位置：



2. ユーザ名とパスワードの入力

数十秒の時間が必要ですが、さまざまな文字表示が流れていった後に、画面上には右のようなウィンドウ（四角い枠）が表示されます



「login」部分に自分のユーザ名（恐らく g123456 のようなもの）を入力し、「Password」部分にパスワード（2dWL#34 のようなもの）を入力します。

まず、「login」の右にある記入欄にカーソル（|）があることを確認し、キーボードを一文字ずつ押してユーザ名を入力します。カーソルがない場合は入力できません。マウスポインタ (☞) を記入欄に移動させ、記入欄の上でクリックしてください。打ち間違いは「Back Space」キーで訂正できます。入力できれば Enter キーを押して下さい。

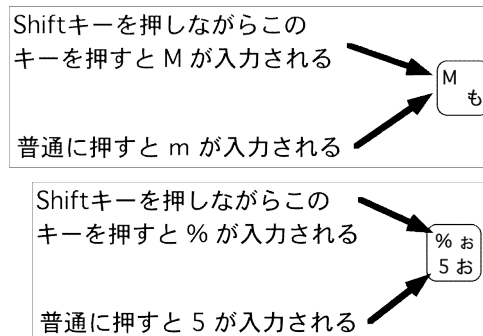
なお、今の段階では数字の入力にはキーボード右側のテンキーは使いません。キーボードの左半分、上から二列目の数字キーを使ってください。

同様の操作でパスワードも入力します。上の作業で Enter キーを押していれば、「Password」の右にある記入欄にカーソルが移動しているはずですが、もしそうになっていなければマウスポインタ (☞) を移動させて、クリックし、カーソル（|）をパスワード記入欄に移してから入力します。

文字、記号の入力方法：

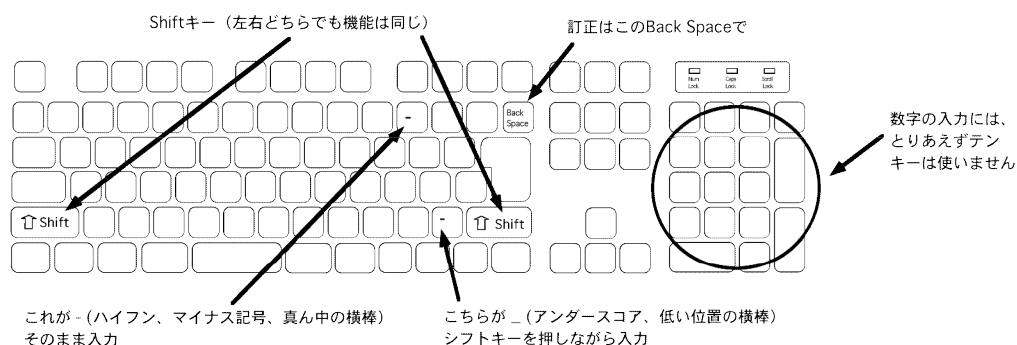
アルファベットとひらがなしか書かれていないキー、例えば ^Mも は、普通に押すと小文字の「m」が入力されます。Shift キーを押しながら入力すると「M」と大文字になります。

数字が0～9まで横一列に書かれたキー、例えば ^{% お}5 は、普通に押すと数字の「5」、Shift キーを押しながら入力すると記号である「%」が入力されます。



パスワードは、他の人に見られないように、どのような文字を入力しても文字は表示されません。もし正しい文字が打ち込めているか自信がない場合は、いったんユーザ名の記入欄にその記号などを入力してみると良いでしょう。確認できたら「Back Space」キーで消しましょう。

各キーの場所：間違いやすい記号と、Shift キー、Backspaceキーなど

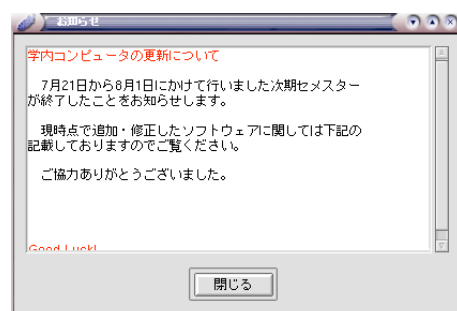


パスワードが入力できたら Enter キーを押してください。
これでLOGINできるはずですよ。


Login に成功すると、右図のような画面になっているはずですよ。

もしそうはならず、
「Login incorrect」という表示とともに、元の画面に戻ったひとは、ユーザ名、パスワードのいずれかが入力し間違えています。もう一度試して下さい。
どうしてもうまくいかない場合は何かを間違えて覚えているか、操作を間違えている可能性がありますので、担当講師（または補助員）に確認してください。

Login 直後の画面に、右図のようなウィンドウが表示されている場合があります。利用者に対するアナウンスが書かれていますので、しっかり読んで、理解するなりメモするなりしてから「閉じる」ボタンをクリックして画面上から消してください。



3. Logout と電源断

作業を終了して電源を切るには、まず画面右下端の「ログアウト」ボタン  をクリックしてください。これでLogin 前の状態（右図のウィンドウ）に戻ります。

そこでユーザ名、パスワードの入力欄の右下にある「電源OFF」ボタンをクリックしてください。これで電源が自動的に切れるところまで進みます。画面表示が暗くなり、本体のランプが消えたら正常に終了することができます。

